

天然歯の形態学（次世代への継承）



脇田 太裕

人間の感性は人によって異なり、平均的であれば良いとは限らず、審美技工は「美しい、調和、自然観」を表現することは正に、「感性に触れる」である。

天然歯の形態はその大きい部分を占めている。形態による色調への相乗効果は言うまでもない。製作工程がデジタルになったとしても、最後には補綴装置が存在し、そこから完成までに何ができるか、何をするかによってその価値は大きく変わる。本編は前歯全体の形態の特徴をバランスや流れから「美しさ、調和、流れ」を紹介し自然観を再現するための知識と方法をご紹介します。患者を笑顔にする一助なることを切に願う。（医歯薬出版 天然歯の形態学2 序文より引用）

【略歴】

1966年11月生まれ

1988年3月 大阪歯科学院夜間学科卒

1989年3月 大阪セラミックトレーニングセンター卒

同年5月渡独 Labor Weiss 勤務

1991年5月帰国 同年6月 大阪セラミックトレーニングセンターインストラクター就任

同年 名越歯科 高槻診療所勤務

1995年 名越歯科 梅田診療所勤務

2001年3月 名越歯科 退社

同年5月 D.デンタルセラミスト開業

2023年2月 大阪 SJCD 臨床テクニシャンコース修了

【所属】

D.デンタルセラミスト代表

大阪セラミックトレーニングセンター大阪校 校長

Ivoclar vivadent Japan C&B インストラクター

日本顎咬合学会 会員

日本臨床歯科学会 会員

【著書】

2014年7月 『歯牙形態』ZERO publicshing

監修 片岡繁夫 著 脇田太裕

2018年9月 『天然歯の形態学1 Basic』 医歯薬出版

2019年10月 『天然歯の形態学2 Advance』 医歯薬出版